

株主・投資家の皆さまへ

業績報告書

vol.53



2016年度第1四半期決算報告



JT NEWS



JTグループ商品のご紹介



JTグループのCSRの取り組み



CLOSE UP!(JTグループ企業・部門紹介)



旅路の先で出会う温故知新

ひとの
ときを、
想う。 JT

各事業のトップライン伸長と ポジティブな一時的要因により、力強いスタート



代表取締役社長

小泉 元臣

2016年度第1四半期実績

2016年度第1四半期は、為替のネガティブな影響を受けつつも、好調なビジネスモメンタムを背景に、すべての事業で売上収益が増加いたしました。全社の利益指標である為替一定ベースの調整後営業利益は、トップライン伸長に加え、一時的なポジティブ要因により、前年同期比20.6%増と、通期の見込達成に向けて力強いスタートとなりました。

海外たばこ事業は、多くの市場での総需要の減少傾向や為替のネガティブな影響等厳しい事業環境が続く中、GFB*を中心とした好調なモメンタムに加え、買収した事業会社の貢献、さまざまな市場での一時的な在庫充実により、総販売数量は7.1%、GFB販売数量は10.7%の成長となりました。為替一定ベースの調整後営業利益につきましては、一時的な要因を含む数量効果、並びに着実なプライシングを行っていることを主因として、前年同期比21.1%増加しております。

国内たばこ事業は、4月に実施した「MEVIUS」および「わかば」「エコー」等6銘柄の定価改定により1-3月期に駆け込み需要が発生したことに加え、1月に買収を完了した「Natural American Spirit」の

加入を主因に、販売数量、シェアともに上昇いたしました。調整後営業利益につきましては、これらの数量増、および2015年3月に実施した競争力強化施策の効果の発現により、15.4%の増加となりました。

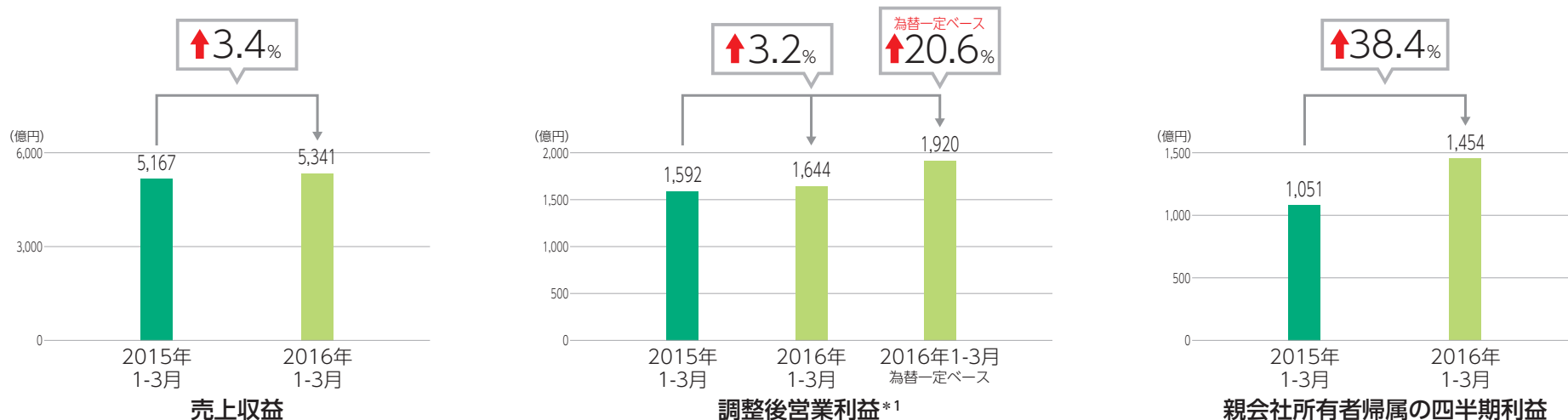
また、損益が改善し全社利益への貢献を開始した医薬事業、ならびに加工食品事業も、トップラインの着実な伸長を見せております。

2016年度は力強いスタートを切ることができましたが、今後も事業環境はより厳しさを増していくものと考えております。引き続き、中長期にわたる持続的成長へ向けた事業投資の強化を進めるとともに、我々の強みである変化への対応力を強化し、今年度の目標達成を目指してまいります。

※ JTグループのブランドポートフォリオの中核を担う[Winston][CAMEL][MEVIUS][LD][Benson & Hedges][Glamour][Silk Cut][Sobranie][Natural American Spirit]の9ブランドをGFB(グローバル・フラッグシップ・ブランド)としております

2016年度 第1四半期決算*

※比較情報としての2015年度第1四半期の実績は、継続事業ベースにてお示ししております



(※1) 調整後営業利益=営業利益+買収に伴い生じた無形資産にかかる償却費+調整項目(収益および費用)*

*調整項目(収益および費用)= のれんの減損損失±リストラクチャリング収益および費用等

海外たばこ事業

2016年度第1四半期も厳しい事業環境が続いたものの、総販売数量^{※1}は7.1%、GFB販売数量についても10.7%の成長となりました。主な要因は、引き続き好調な成長モメンタムと、イランのArian Tobacco Industry社および「Natural American Spirit」買収効果の発現に加え、さまざまな市場におけるポジティブな流通在庫調整があったことによるものです。

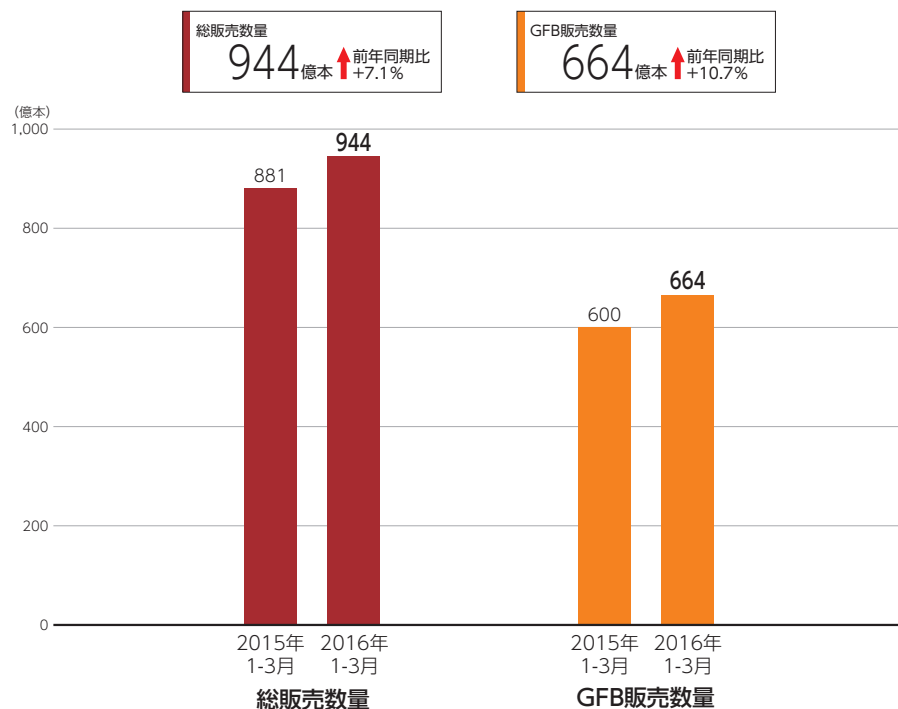
ドルベースの実績は、為替一定調整後営業利益が数量増と力強いプライシングにより21.1%の増益となった一方、財務報告ベースの調整後営業利益は、ロシア・ルーブルをはじめとした現地通貨安による為替のネガティブな影響を受け2.1%減益となりました。円ベースの調整後営業利益についても円高によるネガティブな影響があり、5.2%減益となっております。

主要市場シェア (12か月移動平均)

	2015年3月	2016年3月	増減%pt
フランス	21.0%	21.4% ^{※2}	+0.5%pt
イタリア	19.7%	21.6%	+1.9%pt
ロシア (うちGFBシェア)	34.5% (24.0%)	33.5% ^{※2} (24.2% ^{※2})	-0.9%pt (+0.3%pt)
スペイン	22.0%	22.4% ^{※2}	+0.4%pt
台湾	38.6%	39.3%	+0.7%pt
トルコ	30.1%	29.9%	-0.2%pt
英国	41.5%	42.1%	+0.6%pt

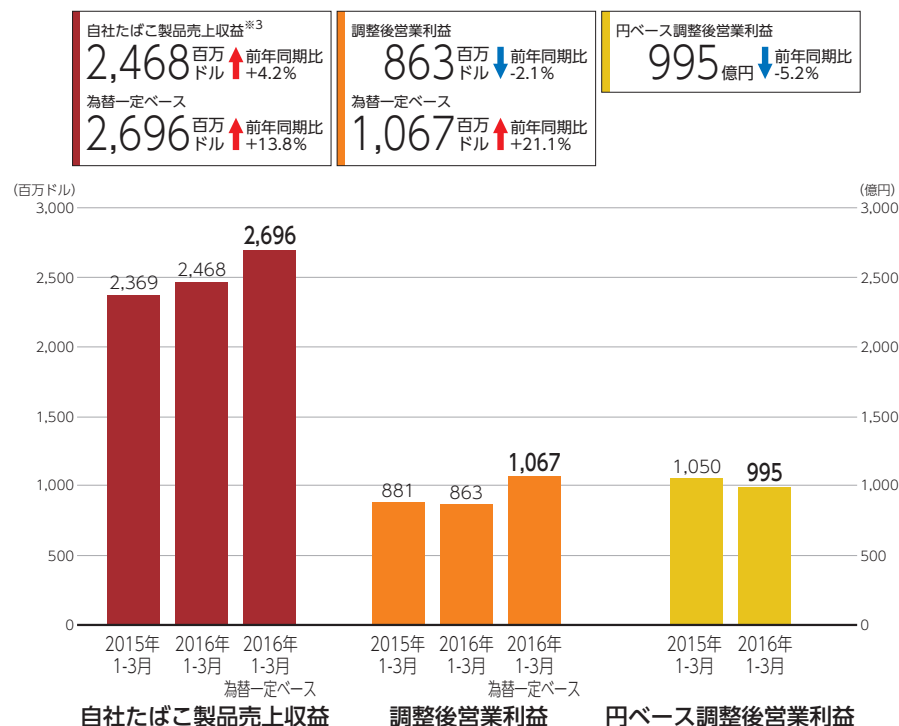
2015年4月から2016年3月までのシェア
ただし※2は2015年3月から2016年2月までのシェア

海外たばこ事業販売数量実績



※1 水たばこ/Emerging Products/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus込み

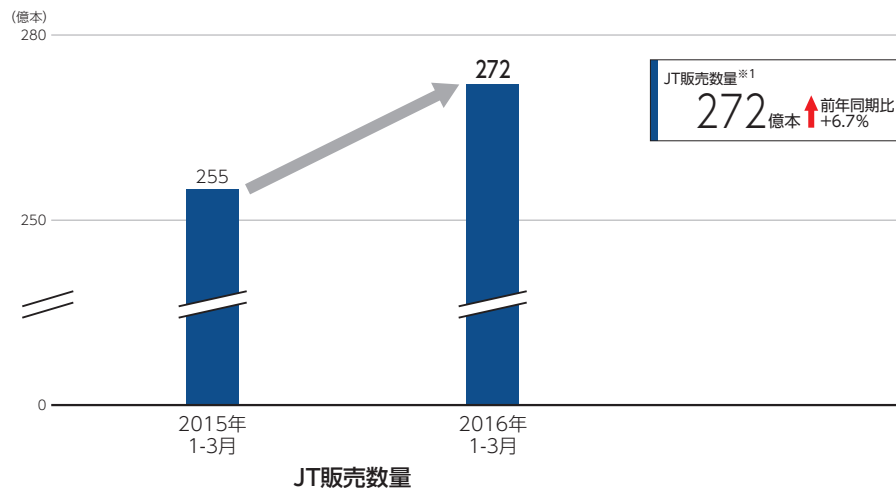
海外たばこ事業実績



※3 物流事業、製造受託等を除き、水たばこ、Emerging Productsの売上込み

国内たばこ事業

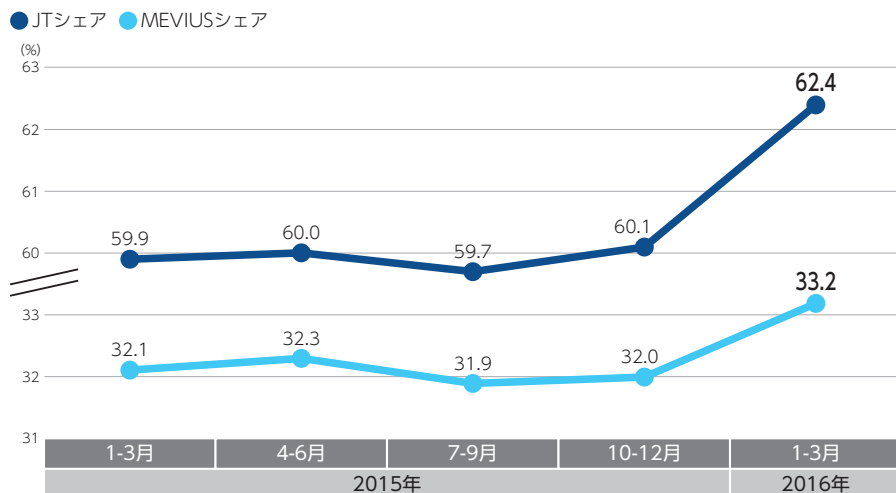
JT販売数量実績



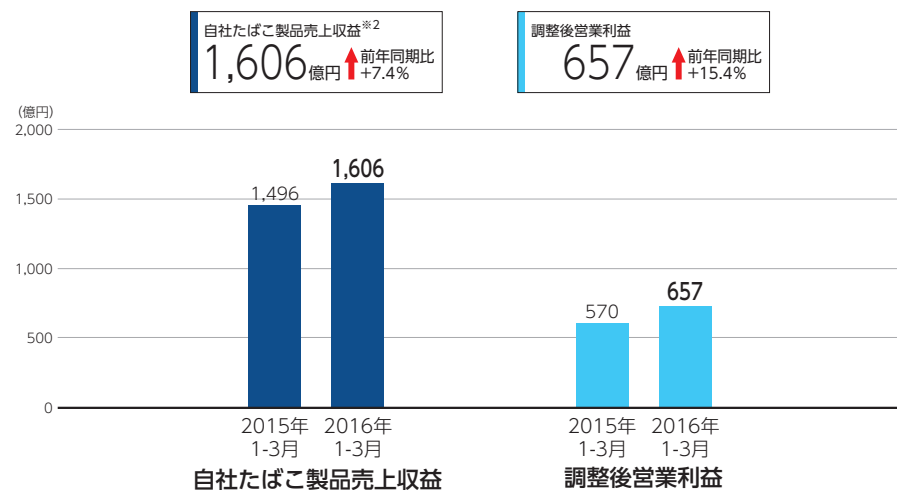
JTの販売数量およびシェアは、左図の通り対前年同期で増加いたしました。主な要因は、「Natural American Spirit」の買収効果に加え、「MEVIUS」および「わかば」「エコー」等6銘柄の定価改定に伴う駆け込み需要が発生したことによるものです。今後は「MEVIUS」や「わかば」「エコー」などでの製品改善を通じ、定価改定後の影響を小さなものに留めるべく努力してまいります。

自社たばこ製品売上収益は数量増を主因に7.4%、調整後営業利益は、それに加え昨年3月に実施した競争力強化施策の効果が発現していることにより、15.4%の増加となりました。

JTシェア/MEVIUSシェア推移



国内たばこ事業実績

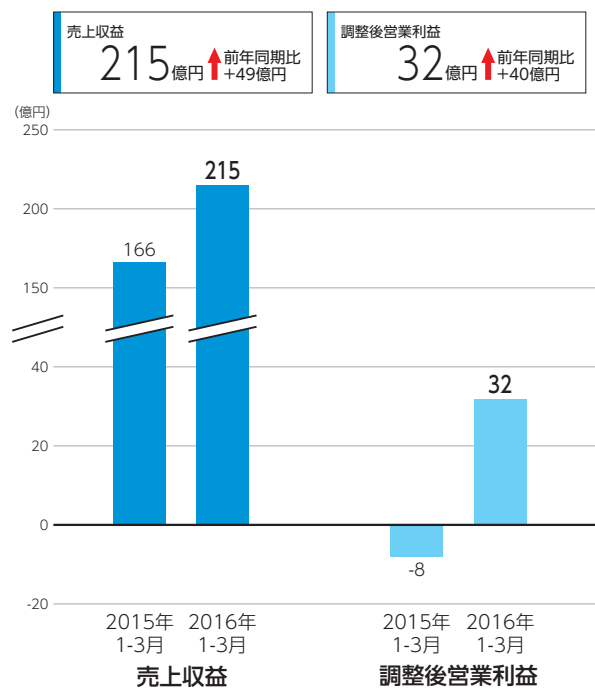


※2 輸入たばこ配送手数料収益等を控除

医薬事業

医薬事業は、導出品の開発が進展し一時金収入が発生したことに加え、スタビルド等のロイヤリティ収入の増加により、前年同期比49億円の増収、損益は40億円改善し、本四半期より全社利益への貢献を開始しました。

医薬事業実績



医薬事業 臨床開発品目一覧 (2016年5月2日現在)

自社開発品

開発番号 (一般名)	想定する 適応症/剤形	作用機序	開発 地域	開発段階					備考
				Phase1	Phase2	Phase3	申請準備中	申請中	
JTK-303 (エルビテグラビル)/ コピシタット/エム トリシタビン/テノ ホビル アラフェナミド フマル酸塩配合錠	HIV感染症/経口	インテグラーゼ阻害/ 逆転写酵素阻害	国内	●	●	●	●	●	JTK-303(エルビテグラビル)は自社品 他3成分は導入品 (Gilead Sciences社)
エムトリシタビン/テ ノホビル アラフェナ ミドフマル酸塩配合錠	HIV感染症/経口	逆転写酵素阻害	国内	●	●	●	●		導入品 (Gilead Sciences社)
JTT-851	2型糖尿病/経口	GPR40作用	国内 海外	● ●	● ●				自社品
JTZ-951	腎性貧血/経口	HIF-PHD阻害	国内 海外	● ●	● ●				自社品
JTE-052	自己免疫・アレルギー疾患/経口・外用	JAK阻害	国内	●	●				自社品
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患/経口	ITK阻害	海外	●					自社品
JTT-251	2型糖尿病/経口	PDHK阻害	海外	●					自社品
JTK-351	HIV感染症/経口	インテグラーゼ阻害	国内	●					自社品

(注) 開発段階の表記は投薬開始を基準とする

導出品

一般名等 (当社開発番号)	導出先	作用機序	
trametinib	Novartis社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する
抗ICOS抗体	MedImmune社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻害し、免疫反応を抑制する
JTE-052	LEO Pharma社	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する

前回公表時 (2016年2月4日) からの変更点

<自社開発品>

・エルビテグラビル/コピシタット/エムトリシタビン/テノホビル アラフェナミドフマル酸塩配合錠 (E/C/F/TAF配合錠):

国内における製造販売承認申請を実施 (2016年3月4日)

・JTE-151: 開発中止

<導出品>

・メキニスト (trametinib):

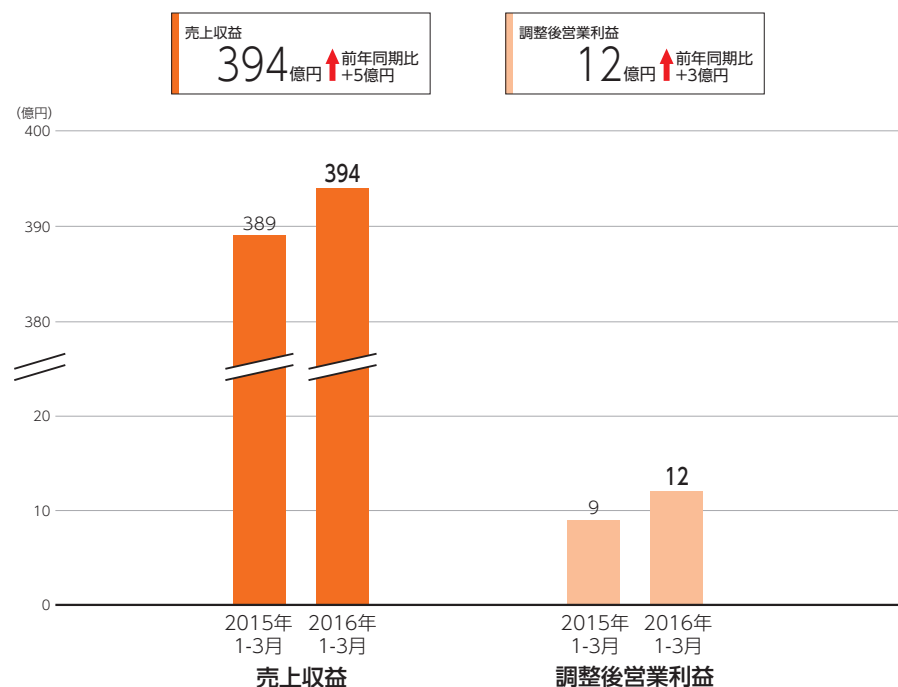
ノバルティス ファーマ株式会社、タフィニラー (dabrafenib) との併用において、BRAF遺伝子変異を有する切除不能な悪性黒色腫 (メラノーマ) 治療薬として国内における製造販売承認取得を公表 (2016年3月28日)

加工食品事業

加工食品事業におきましては、冷凍・常温加工食品および調味料を中心に販売が好調に推移したことから、トップラインが伸長し、調整後営業利益についても増益となりました。



加工食品事業実績



将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社または当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象または条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、次のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- ① 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- ② たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティングおよび使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制および政府による調査の影響等
- ③ 国内外の訴訟の動向
- ④ 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- ⑤ 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- ⑥ 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化および需要の減少
- ⑦ 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- ⑧ 国内外の経済状況
- ⑨ 為替変動および原材料費の変動
- ⑩ 自然災害および不測の事態等

連結財務諸表

当社グループは、前年度において、飲料事業を非継続事業に分類しております。これにより、2015年12月期 第1四半期における非継続事業からの利益または損失は、「非継続事業からの四半期利益」として、継続事業と区分して表示しております。

(注) 記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております。

連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科目	前年度 (2015年12月31日)	当第1四半期 (2016年3月31日)	増減金額
資産			
流動資産	1,798,217	1,495,713	△302,504
非流動資産	2,760,017	3,203,813	443,796
有形固定資産	681,865	664,499	△17,366
のれん	1,429,287	1,654,037	224,750
無形資産	332,478	477,546	145,068
投資不動産	23,614	19,360	△4,254
退職給付にかかる資産	38,954	36,285	△2,669
持分法で会計処理されている投資	59,523	59,686	164
その他の金融資産	101,727	93,776	△7,951
繰延税金資産	92,570	198,624	106,054
資産合計	4,558,235	4,699,527	141,292

point1 流動資産

現金および現金同等物の減少により減少しました。

point2 のれん、無形資産、繰延税金資産

Natural American Spirit 米国外たばこ事業の取得により、増加しました。

(単位：百万円)

科目	前年度 (2015年12月31日)	当第1四半期 (2016年3月31日)	増減金額
負債および資本			
負債			
流動負債	1,265,920	1,515,510	249,590
非流動負債	770,790	742,678	△28,112
負債合計	2,036,710	2,258,189	221,478
資本			
親会社の所有者に帰属する持分	2,451,596	2,370,942	△80,654
資本金	100,000	100,000	—
資本剰余金	736,400	736,400	—
自己株式	△444,333	△444,138	196
その他の資本の構成要素	△137,122	△235,631	△98,509
利益剰余金	2,196,651	2,214,310	17,659
非支配持分	69,929	70,396	467
資本合計	2,521,524	2,441,338	△80,187
負債および資本合計	4,558,235	4,699,527	141,292

point3 流動負債

Natural American Spirit 米国外たばこ事業の取得に伴うブリッジローンにより、増加しました。

point4 その他の資本の構成要素

為替影響により減少しました。

point5 利益剰余金

親会社持分の当期利益を計上したことにより、増加しました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第1四半期 (2015年1月1日～ 2015年3月31日)	当第1四半期 (2016年1月1日～ 2016年3月31日)	増減金額
継続事業			
売上収益	516,651	534,088	17,437
売上原価	△202,062	△214,671	△12,609
売上総利益	314,589	319,416	4,827
その他の営業収益	1,240	57,098	55,858
持分法による投資利益	905	860	△45
販売費および一般管理費等	△172,598	△173,683	△1,085
調整後営業利益※	159,243	164,385	5,142
営業利益	144,137	203,692	59,556
金融収益	4,312	2,183	△2,129
金融費用	△2,382	△5,537	△3,155
税引前四半期利益	146,067	200,339	54,272
法人所得税費用	△40,320	△53,936	△13,616
継続事業からの四半期利益	105,747	146,403	40,656
非継続事業			
非継続事業からの四半期利益	△711	—	—
全社ベース(継続・非継続合算)			
四半期利益	105,036	146,403	41,367
四半期利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する四半期利益	104,195	145,445	41,250
非支配持分に帰属する四半期利益	841	958	117
四半期利益	105,036	146,403	41,367

※調整後営業利益＝営業利益＋買収に伴い生じた無形資産に係る償却費±調整項目(収益および費用)*

*調整項目(収益および費用)＝のれんの減損損失±リストラクチャリング収益および費用等

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	前第1四半期 (2015年1月1日～ 2015年3月31日)	当第1四半期 (2016年1月1日～ 2016年3月31日)	増減金額
四半期利益	105,036	146,403	41,367
税引後その他の包括利益	△178,123	△112,865	65,258
四半期包括利益	△73,087	33,538	106,625
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する四半期包括利益	△73,502	33,136	106,638
非支配持分に帰属する四半期包括利益	415	402	△12
四半期包括利益	△73,087	33,538	106,625

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前第1四半期 (2015年1月1日～ 2015年3月31日)	当第1四半期 (2016年1月1日～ 2016年3月31日)	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△140,326	△172,299	△31,973
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,910	△558,852	△523,942
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,230	370,532	382,762
現金および現金同等物の増減額(減少)	△187,466	△360,619	△173,153
現金および現金同等物の期首残高	385,820	526,765	140,945
現金および現金同等物にかかる為替変動による影響	△3,172	△6,910	△3,739
現金および現金同等物の四半期末残高	195,182	159,235	△35,947

point6 投資活動によるキャッシュ・フロー

Natural American Spirit 米国外たばこ事業の取得により、支出額が増加しました。

point7 財務活動によるキャッシュ・フロー

Natural American Spirit 米国外たばこ事業の取得に伴うブリッジローンにより増加しました。

2016 4/1 JTグループ各社で入社式を開催



新入社員へ挨拶をする小泉社長

JTをはじめとするJTグループ各社で入社式が執り行われ、今年も多くの新入社員がJTグループに加わりました。

品川プリンスホテル（東京都港区）で行われたJTの入社式には、新卒社員・経験者採用社員が晴れやかな表情で参加。

小泉光臣社長は「失敗を恐れずにチャレンジする、そして外から学ぶことで『自己研鑽』を重ねてほしい」と、激励の言葉を贈りました。

JTグループ各社の新入社員数

日本たばこ産業(株)	新卒社員(168名)、経験者採用社員(10名)
ジェイティ物流(株)	新卒社員(1名)
日本フィルター工業(株)	新卒社員(15名)
富士フレイバー(株)	新卒社員(2名)
ジェイティプラントサービス(株)	新卒社員(2名)、経験者採用社員(11名)
鳥居薬品(株)	新卒社員(50名)
テーブルマーク(株)	新卒社員(32名)
富士食品工業(株)	新卒社員(17名)
(株)サンジェルマン	新卒社員(20名)、経験者採用社員(8名)
ケイエス冷凍食品(株)	新卒社員(4名)
TSネットワーク(株)	新卒社員(1名)



2016 6月中旬 「わかば」「エコー」「しんせい」「ゴールデンバット」4銘柄の改善を実施

JTは、今まで以上にお客様にご満足いただける品質を提供するため、「わかば」「エコー」「しんせい」「ゴールデンバット」の4銘柄で改善を実施し、2016年6月中旬より全国で順次発売します。

たばこの保湿や鮮度維持の観点から、この4銘柄を他の商品と同様のフィルム付き仕様に改善。また両切りたばこ（フィルターの付いていない商品）として販売していた「しんせい」「ゴールデンバット」の2銘柄は、フィルター付き仕様へと改善いたします。またフィルター化によりタール値・ニコチン値も変更になります。詳細な変更内容は以下の通りです。

■改善点

銘柄名	個装フィルム化	フィルター化	タール／ニコチン値変更 (mg)
わかば	○	—	—
エコー	○	—	—
しんせい	○	○	○ タール値22mg⇒15mg ニコチン値1.4mg⇒1.0mg
ゴールデンバット	○	○	○ タール値18mg⇒15mg ニコチン値1.1mg⇒1.0mg

■改善後の商品情報

わかば

クセのないソフトな味わいと香り

タール : 19mg
ニコチン : 1.4mg
本数 : 20本
価格 : 290円

エコー

たばこ本来のkokoroのあるうま味

タール : 15mg
ニコチン : 1.0mg
本数 : 20本
価格 : 280円

しんせい

あっさりとした軽い喫味

タール : 15mg
ニコチン : 1.0mg
本数 : 20本
価格 : 280円

ゴールデンバット

あっさりとした吸い心地

タール : 15mg
ニコチン : 1.0mg
本数 : 20本
価格 : 260円

フィルター化によりそれぞれの銘柄が持つ味わいの特徴は継承しながら、従来よりも雑味の少ない味・香りをお楽しみいただけます。

「メビウス」レギュラー初のカプセル搭載 メビウス・オプション・リッチプラス 登場！

2016年に3周年を迎えた「メビウス」は、「もっと新しく。もっと驚きを。」をお客様に感じていただくため、商品やサービスをより一層強化し、ブランドの進化を加速させます。新商品として、「メビウス・オプション・リッチプラス」3銘柄を5月下旬より全国で発売しました。



メビウス・オプション・ リッチプラス・10	メビウス・オプション・ リッチプラス・6	メビウス・オプション・ リッチプラス・ワン・100's
タール値: 10mg / ニコチン値: 0.8mg	タール値: 6mg / ニコチン値: 0.5mg	タール値: 1mg / ニコチン値: 0.1mg

価格: 各 440円 (20本入)

なめらかで ほのかに香ばしい喫味

新商品3銘柄は、「メビウス」のレギュラーでは初のカプセル入り商品です。カプセルをつぶす前は「メビウス」ならではのスムーズでクリアな味わいを、つぶすとほのかに香ばしくなめらかな味わいを楽しめます。

担当者コメント

JT マーケティング戦略部 ブランドマネージャー 横洲 昭典



近年、メンソールセグメントではカプセル入り商品が伸長しています。一方、レギュラータイプでは、レギュラーから他のレギュラー味にフレーバーが変化するカプセル入り商品は既存市場にはほぼありません。「もっと新しく。もっと驚きを。」感じていただきたく、この度、新商品を投入いたしました。

「メビウス」は今回の新商品の発売を含め、お客様のさらなるご満足のために、そして新たな歓びのために、今後も魅力的な施策を展開していきます。

トピック 味・香りはそのままに定番銘柄をアップグレード

「メビウス」定番16銘柄について、「味・香り」はそのままに、パッケージデザインとフィルターを向上します。パッケージは、アーク（円弧状のマーク）をパッケージ中央に配し、洗練されたプレミアム感のあるデザインに。フィルターは、お客様により上質な喫煙体験を提供するため、硬さと唇からの離れやすさの向上を図りました。

※このページは株主の皆様へ事業を説明する目的で作成されたものです。お客様へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません



和のごはん 生姜のきいた鰹めし

内容量: 400g

■食欲が低下しがちな
夏の暑い日にオススメです！

担当者コメント

テーブルマーク(株) M&S本部 商品開発部 大根田 浩之

生姜の千切りと生姜汁を併用し、暑い夏場でもさっぱりとして食べやすい期間限定商品です。冷たい出汁をかけてもおいしく召し上がれます。

こだわりのメイン具材は、濃い味付けでご飯のお供にぴったりの「焼津産味付け鰹」。製法にもこだわり、固形感を出すために鰹のみを凍結した後、具材を投入しています。

どなたにも食べやすい味付けは、そのままでも、お好みでアレンジしても、ご満足いただけるはずです。ぜひ一度、ご賞味ください。



ぶっかけきつねうどん

内容量: 1食入 / 270g(めん180g)

■穴あきトレーなので、レンジでチンして、
そのまま流水で水切りするだけの手間いらず

たきたてご飯 北海道産ななつぼし(分割) 4食

内容量: 4食入 / 600g(150g×2食×2個)

■つや、甘み、粘りのバランスが良く
冷めてもおいしくお召し上がりいただけます



JTグループの CSRの取り組み

JTグループは、「お客様を中心として、株主、従業員、社会の4者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4者の満足度を高めていく」という経営理念のもと、持続可能な社会の実現に向けて、事業展開地域でさまざまな社会的課題の解決に取り組んでいます。

このページでは、国内外におけるJTグループのCSR（企業の社会的責任）の取り組み事例についてご紹介します。



岩手県陸前高田市「たかたのゆめ」の水田

JT東日本大震災復興支援

「ひと」と、未来へ。

各地に甚大な被害をもたらした東日本大震災。あれから5年が経ちました。

これまで、JTグループでは、東日本大震災復興支援を最重要の社会課題と位置づけ、さまざまな支援活動を行ってまいりました。

震災直後の炊き出しやボランティア活動をはじめ、地域コミュニティの復興・再生・活性化につながる事業への助成など、長期的視点に立った支援活動を続けています。

この5年で被災地に蒔かれた復興の種は大きく芽吹き、着実に街の再生が進んでいます。

それでも復興への道のりは長く険しく、まだまだ多くの支援が必要とされているのが実情です。

これからのテーマは、『ひと』と、未来へ。』

JTでは、東日本大震災から10年を迎える2021年までを目標に、『ひと』と、未来へ。』をテーマにした復興支援活動を実施してまいります。

復興の原動力ともいえる地域のコミュニティを支える「つながり支援」、農業分野での価値創造をお手伝いする「なりわい支援」、街に賑わいを生む場づくりを応援する「にぎわい支援」の3つの分野で、被災地のニーズと向き合い、具体的な取り組み内容を随時検討し、復興への取り組みをより一層進めてまいります。

「ひと」と「ひと」だけでなく、「ひと」と「農」、「ひと」と「まち」をつないでいく。そんな場づくりをお手伝いしたいと考えています。

3つの領域で応援を続けていきます

「ひと」と「ひと」 つながり支援

JT NPO応援プロジェクト

震災後の生活の中で、人とのつながりやコミュニティの大切さがあらためて見直されています。私たちJTは、復興の原動力ともいえるコミュニティを支えるため、特に甚大な被害を受けた岩手県、宮城県、福島県の復興・再生・活性化の一助となることを目指し、認定特定非営利活動法人 日本NPOセンターの東日本大震災被災地NPO応援基金（特定助成）への寄付により、「東日本大震災復興支援 JT NPO応援プロジェクト」を創設しました。

2013年の創設から、2016年2月現在、のべ57事業に対し、のべ約2.1億円を助成しています。2016年も引き続き募集・助成を継続します。



「ひと」と「農」 なりわい支援

陸前高田市ブランド米「たかたのゆめ」サポート

被災地となった東北は、長きにわたり日本の農業を支えてきました。たばこもまた農産物であり、農業は私たちJTの原点でもあります。

陸前高田市ブランド米「たかたのゆめ」は、岩手県陸前高田市の復興支援を目的として、JTが開発・保有していた品種「いわた13号」を、2012年に同市に寄贈したオリジナルのブランド米です。

2015年度からは生産者の方々と共に「実証水田」の取り組みを開始しました。JTグループでは、今後も陸前高田市と「たかたのゆめ」をサポートしてまいります。



「ひと」と「まち」 にぎわい支援

RockCorps supported by JT 2016

いま、東北は創造的復興を掲げ、新たな魅力づくりを進めています。街に人が集まれば賑わいが生まれ、街の活気につながっていきます。私たちJTは、2014年から協賛している「RockCorps supported by JT」に、2016年も引き続き協賛することを決定いたしました。

「RockCorps」は、4時間のボランティアに参加すると豪華ライブに参加できる新しい社会貢献のカタチを提案するプロジェクトで、これまでに世界10か国・16万人以上が参加しています。プロジェクトの締めくくりとなるライブイベント「セレブレーション」では、ボランティア活動を行った参加者たちが、あづま総合体育館（福島県福島市）に集結します。



JTグループの詳しいCSRの取り組みについては、
JTウェブサイトをご覧ください。

JT CSR

検索

JT多様化推進室

多様な力を結集した職場の実現のために
多様性の受容と尊重を推進する取り組みを行っています

JTグループでは、性別や年齢、国籍だけではなく、性格、経験、専門性など異なる背景や価値観を尊重し、違いに価値を見出すことが会社の持続的な成長に繋がると考えています。

多様化推進室では、経営課題のひとつとして位置付けている多様化（ダイバーシティ）を推進すべく、さまざまな取り組みを行っています。

多様化推進室 室長
金山 和香



「イクボス」実践セミナーの様子

JT多様化推進室

代表：金山和香

人数：8名

JTグループの多様化推進への取り組みについてはJTウェブサイトをご覧ください。

URL： https://www.jti.co.jp/csr/policy/human_resources/diversification/index.html

多様な人財が活躍できる組織がJTグループの成長基盤

JTグループでは、事業競争力を強化し、変化への対応力を向上させるために、多様性を活かし、価値を生み出す組織であることを大切にしています。

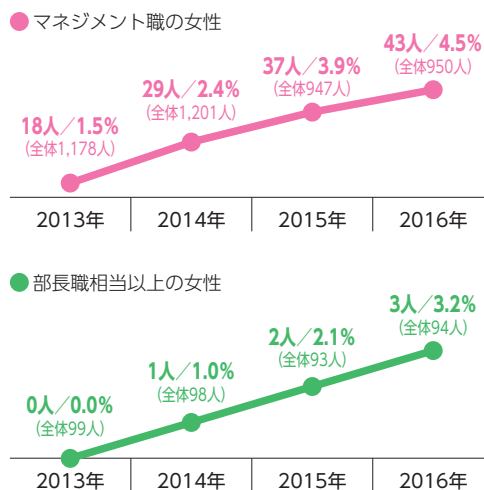
多様性を受容し尊重するために、社内外を問わず経験やライフスタイルを共有し、議論できる機会を設けています。例えば、ワークライフバランスの実現に向け、役員、マネジメントを対象に「イクボス」に焦点をあてたセミナーを開催、LGBT^{※2}に関する基礎知識を学ぶセミナーを開くなど、多様性を活かす組織づくりを進めています。

多様化推進のひとつとして、女性の活躍を積極的に推進

女性社員のさらなる成長に向けて、さまざまな支援を行っています。年齢・職位に応じた社内外の研修や交流機会を提供し、ロールモデルを紹介したり、キャリア形成を支援するなどしています。また、仕事と家庭の両立支援制度の拡充も行っています。

当社の女性マネジメント職の比率*は増加しており、2018年までに5%相当、2023年までには10%相当をマイルストーンに設定しています。

JTにおける女性社員の活躍状況



* 各年ともにJT単体における4月1日時点の値

外部からも評価されたJTの取り組み

左記の取り組みが評価され、3月16日、経済産業省が表彰する「新・ダイバーシティ経営企業100選」、同省と東京証券取引所が共同で選定する「なでしこ銘柄」にダブル選定されました。ともに初めての受賞となります。

両表彰ともに、多様な人財の活躍推進はもちろん、ビジネス上の成果や財務指標なども審査基準に含まれており、会社全体としての成果が評価されたものといえます。

今後も、持続的な成長に向け、多様な人財のさらなる活躍を推進してまいります。



両表彰の賞状、トロフィーを持つ小泉光臣社長と金山多様化推進室長



※1 職場で共に働くメンバーのワークライフバランスを尊重し、その人のキャリア・成長と人生を応援しながら、組織の業績を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司

※2 LGBTとは、レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーの頭文字をとった性的マイノリティの総称



国分葉 頌徳碑 (しょうとくひ)

鹿児島県



かつて葉たばこの生産で潤った国分を散策しても、たばこにまつわるものをあまり見つけることはできません。3枚のたばこ葉を組み合わせた霧島市立国分中央高等学校の校章に、わずかにその名残りが見てとれます。また「国分葉 頌徳碑」から車で5分ほど離れた場所には、「国分煙草記念碑」もあります。これは昭和52（1977）年に、当時の国分市教育委員会が建立したものです。



「国分葉」発祥に貢献した 服部宗重^{むねしげ}の功績をたたえる碑

戸花は霧島、たばこは国分、燃えて上がるはオハラハー桜島戸

鹿児島県を代表する民謡『おはら節』の中で“たばこは国分”と歌われているように、鹿児島の名産品の1つに葉たばこが挙げられます。『おはら節』がいつ頃から歌われ始めたか定かではありませんが、現在の鹿児島県霧島市の国分周辺は、かつてたばこの産地として有名でした。ここで生産された葉たばこは「国分葉」と呼ばれ、江戸時代から銘葉として評価されていました。この国分葉の来歴を伝える石碑が、霧島市の国分中央に位置する「正覚寺公園」の中に佇んでいます。

正面に大きく「頌徳碑」と刻まれたこの碑は、慶長11（1606）年に同地でたばこの栽培を始めた服部宗重をたたえたものです。碑の裏面には、たばこ栽培に成功した宗重が近隣の村落にたばこの栽培方法を伝えたことなど、国分葉の起こりが詳細に記されています。

この碑は大正14（1925）年に同地一帯の始良郡東部八ヶ村煙草耕作聯合組合によって建立されました。当時、鹿児島県では盛んにたばこが耕作されており、県内の耕作面積は約7,000ヘクタールを超していたといわれます。

国分葉の生産は昭和31（1956）年で廃作になってしまいましたが、現在は国分葉から派生した品種の「出水葉^{いずみ}」が同県出水市で生産されています。国分葉とは喫味は異なるものの、独特のハート型をした葉型を引き継いでいます。



碑の裏面には国分葉の来歴が詳細に記されている



かつての国分のたばこ畑を活写した絵葉書（大正末～昭和初期）



現在も生産されている出水葉の葉形は、国分葉を彷彿させる



国分葉 頌徳碑

所在地／〒899-4332
鹿児島県霧島市国分中央6丁目1502番1（正覚寺公園内）

国分煙草記念碑

所在地／〒899-4311
鹿児島県霧島市国分名波町11-21
（市営名波ハイタウン21号棟脇）

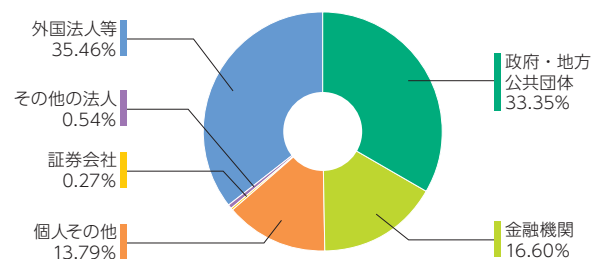
会社概要

商 号 日本たばこ産業株式会社
 本社所在地 〒105-8422
 東京都港区虎ノ門二丁目2番1号 JTビル
 TEL.(03) 3582-3111 (代表) FAX.(03) 5572-1441

設 立 1985年(昭和60年)4月1日
 資 本 金 1,000億円

株式の状況 2016年3月31日現在

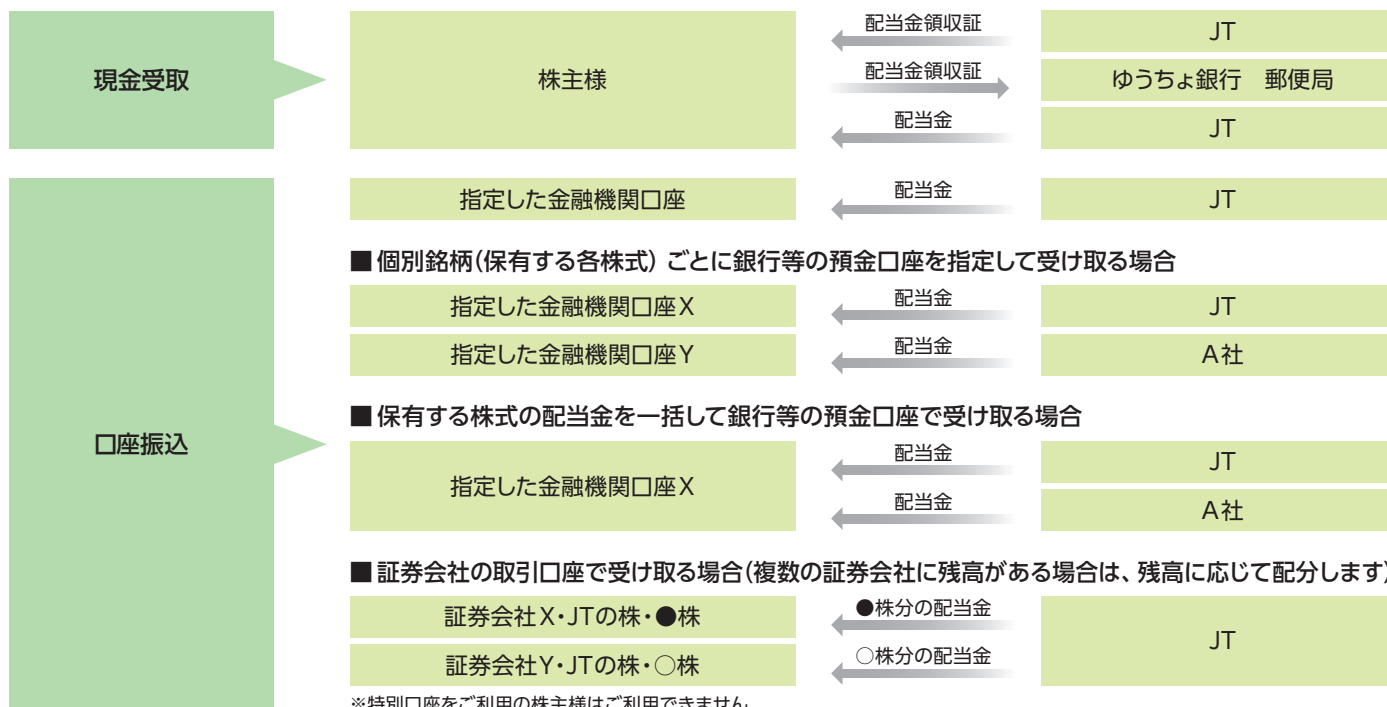
所有者別構成比



発行可能株式総数 8,000,000,000株
 発行済株式の総数 2,000,000,000株
 (自己株式 209,193,231株)
 株主数 110,474名

配当金のお受け取り方法

口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます



役員 2016年4月1日現在

■取締役

取締役会長 丹呉 泰健
 代表取締役社長 小泉 光臣
 代表取締役副社長 新貝 康司
 代表取締役副社長 岩井 睦雄
 取締役副社長 宮崎 秀樹
 取締役 岡 素之*
 取締役 幸田 真音*

※取締役 岡 素之および幸田 真音は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です

■監査役

常勤監査役 中村 太
 常勤監査役 湖島 知高
 監査役 今井 義典*
 監査役 大林 宏*

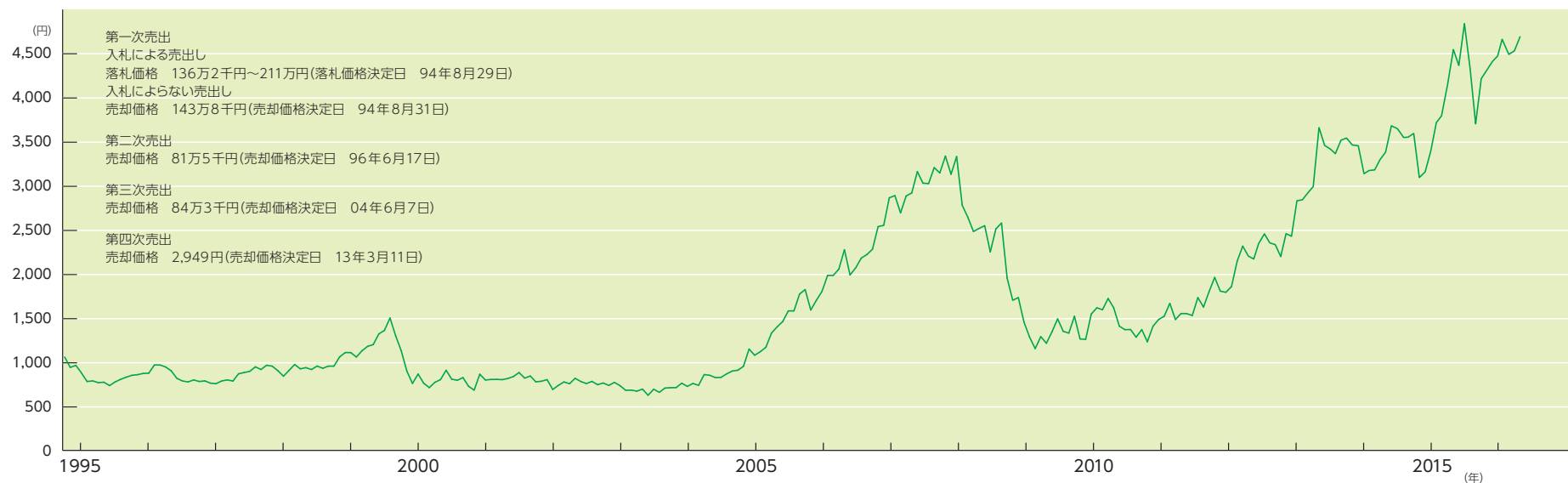
※監査役 今井 義典および大林 宏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です

※法令に定める監査役の数に欠くことになる場合に備え、補欠監査役 政木 道夫を選任しております

■執行役員

社長	(CEO)	小泉 光臣
副社長	(副CEO、コンプライアンス・総務・法務・企画・IT・ビジネスディベロップメント・人事・監査担当)	新貝 康司
副社長	(たばこ事業本部長)	岩井 睦雄
副社長	(財務・CSR・コミュニケーション担当)	宮崎 秀樹
専務執行役員	(コンプライアンス・総務担当)	千々岩良二
常務執行役員	(たばこ事業本部 中国事業部長)	山下 和人
常務執行役員	(たばこ事業本部 マーケティング&セールス責任者)	佐々木治道
執行役員	(たばこ事業本部 事業企画室長)	廣渡 清栄
執行役員	(たばこ事業本部 渉外企画室長)	福地 淳一
執行役員	(たばこ事業本部 原料責任者)	長谷川 靖
執行役員	(たばこ事業本部 R & D責任者)	柴山 武久
執行役員	(たばこ事業本部 製造責任者)	大友 平和
執行役員	(医薬事業部長)	藤本 宗明
執行役員	(医薬事業副部長)	松田 剛一
執行役員	(医薬事業部 医薬総合研究所長)	大川 滋紀
執行役員	(財務責任者)	見浪 直博
執行役員	(CSR担当)	永田 亮子
執行役員	(法務担当)	山田 晴彦
執行役員	(企画・IT担当)	前田 勇気
執行役員	(ビジネスディベロップメント担当)	筒井 岳彦
執行役員	(人事担当)	嶋吉 耕史
執行役員	(コミュニケーション担当)	中野 恵

株価の推移 1994年10月27日上場～2016年4月 当社株価（東証終値、月間）



※2006年4月1日を効力発生日として1株につき5株の割合、また、2012年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を実施しました。株価は調整後株価を示しています

株主メモ

決算期 12月31日 定時株主総会 3月

期末配当金支払株主確定日 12月31日 中間配当金支払株主確定日 6月30日 1単元の株式数 100株

公告の方法	電子公告 当社ホームページ (https://www.jti.co.jp/) に掲載 ※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載		
株主名簿管理人・ 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 ■事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	■お問い合わせ先・郵便物送付先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711 (平日9:00~17:00)	■特別口座に関する手続き用紙のご請求 特別口座をご利用の株主様の住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、特別口座管理機関 (☎0120-244-479) で24時間承っておりますので、ご利用ください
株式の諸手続き	口座を開設されている証券会社までお問い合わせください		

株式の諸手続きについて

証券会社でお取引をされている株主様

【お手続き、ご照会内容】

- 届出住所・氏名などのご変更
- 配当金の受取方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取・売渡（買増）請求
- 証券会社にて株式を管理されている株主様のマイナンバーのお届け出※

など

口座を開設している証券会社

- 郵便物の発送／返戻に関すること
- 支払期間経過後の配当金
- 書類が届かない／配当金領収証の紛失等のトラブル

など

三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座をご利用の株主様

【すべてのお手続き、ご照会、お問い合わせ】

- 届出住所・氏名などのご変更
- 配当金の受取方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取・売渡（買増）請求
- 郵便物の発送／返戻に関すること
- 支払期間経過後の配当金
- 証券会社とのお取引がない株主様のマイナンバーのお届け出※
- その他、株式事務に関する一般的なお問い合わせ

など

お問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 ☎0120-232-711 (平日9:00~17:00)

手続き用紙のご請求先

- 音声自動応答電話によるご請求
- ☎0120-244-479 (24時間)

※市区町村から通知されたマイナンバーは株式の税務関係の手続きで必要となりますので、株主様におかれましては、お取引のある証券会社等へマイナンバーをお届けください

日本たばこ産業株式会社

〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル
 TEL 03-3582-3111 https://www.jti.co.jp/